

令和 7 年度 神野小学校 全国学力・学習状況調査の結果について

秋晴の候、保護者の皆様におかれましては益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は、本校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

さて、7 月にお返ししました全国学力・学習状況調査の結果について、本校の分析結果と今後の取り組みについてお知らせします。この分析結果を踏まえて、全教職員で児童の学力をさらに伸ばせるよう努めてまいります。

今後とも、児童の学力向上とより良い学習習慣の定着のために、ご家庭のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

1 学力調査の結果について

国語科は、全国平均とほぼ同程度でした。特に、言語の特徴や使い方に関する事項や我が国の言語文化に関する事項において優れていました。しかし、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることや、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけることにおいては課題が見られました。

算数科は、全国平均とほぼ同程度で、角の大きさについての理解や異分母の分数の加法の計算がよくできていました。一方、目的に応じて適切なグラフを選択して課題について判断し、その理由を言葉や数を用いて記述する問題や、分数の加法について、共通する単位分数を見出し、加数と被加数が、共通する単位分数の幾つ分かを数や言葉を用いて記述する問題においては課題が見られました。

理科は、全国平均とほぼ同程度でした。中でも、赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込み方の違いについて、土の量と水の量を正しく設定した実験の方法について判断することや、電磁石の強さを強くするためにはコイルの巻き数についての知識、ヘチマのおしべとめしべ及び『受粉』という用語についての知識をみる問題についてよくできていました。反面、アルミニウム、鉄、銅といった身近な金属について、電気を通す物か磁石に引き付けられる物かについての知識、レタスの種子の発芽の条件について調べた実験の結果から新たな問題を見出し、表現することにおいては課題が見られました。

2 学習状況調査の結果について

『学校に行くのは楽しいと思いますか』という問いに「当てはまる」と答えた児童の割合が 62.5%（全国は 49.9%）で、「どちらかと言えば当てはまる」の 26.8%（全国は 36.6%）も加えると 89.3%と高く、さらに、『自分には良いところがある』等の『自分に関すること』の項目においても例年と同様に肯定的な回答の割合が高くありました。これらは、学校での人間関係の良好さの現れであり、また、家庭や地域等での多くの方々からの支援を受け、前向きで素直にがんばる神野っ子の特徴的な良い姿勢の現れでもあると感じます。

一方で『家庭での学習時間』において、平日 2 時間以上学習する児童が 37.5%、1～2 時間が 35.7%、1 時間未満が 21.4%、「全くしない」は 3.6%と個人差が大きいことが気になります。また、『読書量』においても、よく読書をする児童（平日 10 分以上）は 57%で、全国（53.2%）と比較して優秀ですが、この割合もさらに増えて欲しいところです。

3 今後の取り組みについて

<学力面>

朝の学習時間や家庭学習を活用し、漢字を含めた国語科の基礎的な言語事項、算数科の計算や用語、理科で扱う器具や用語等について繰り返し復習し、基礎知識のさらなる定着を図ります。

また、図表などが文章のどの部分と結びつくのかを明らかにしながら、目的に応じて必要な情報を取捨選択したり、情報と情報がどのような関係にあるのか考えたりする力を培い、論理的思考力を高め、考えを正確に説明できる力を育成するための授業改善に取り組みます。

<学習状況面>

これからも友達との絆や規則正しい生活リズムを大切にしながら、読書時間を確保したり、学習したことを生活で活用したりする等、家庭での学習の機会を増やしていくための取り組みも進めていきたいと思っています。ご協力よろしくお願いいたします。